

事務事業コード	701120	事務事業名	薩摩義士顕彰会運営支援事業	担当部	総務部
				担当課	総務課
政策名	4	育み磨きあいまちづくり		グループ	市民運動推進室
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	45-5111
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ		内線番号	1145
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	2	総務費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H17 年度~)
	項	1	総務管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	一般管理費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	701120			
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
宝暦4年(1754年)の木曾川治水工事(宝暦治水)における薩摩義士の尊い偉業と、その崇高な精神を後世に永く伝えるため、薩摩義士顕彰会を組織し、薩摩義士が残した業績と精神を顕彰するとともに、さらに詳しい調査研究を進める。また、姉妹都市である岐阜県海津市の「報恩感謝」の気風を学ぶとともに、鹿児島県や岐阜県にある薩摩義士顕彰団体との連携を深める。 主な活動としては、薩摩義士顕彰会設立総会、薩摩義士慰霊祭へ参加し報恩感謝の気風を学ぶ、隼人地区に墓のある薩摩義士「山元八兵衛」の研究及び慰霊墓参、薩摩義士研修会の開催、広報誌の発行、が挙げられる。なお、事務局は市民運動推進室が担っている。			事務事業の概要と同様				
			平成22年度計画				
			前年度と同様				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	総会の開催	回	1	1	1	1	
イ	薩摩義士慰霊祭参加者数	人	33	40	40	40	
ウ	「山元八兵衛」慰霊墓参参加者数	人	46	48	50	50	
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	市民	人口	127,450	127,662	128,640	128,868	
イ	薩摩義士顕彰会会員	薩摩義士顕彰会会員	113	120	130	150	
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	薩摩義士の崇高な精神を学ぶとともにその精神を後世に永く伝える。	薩摩義士顕彰会の事業参加者数	179	187	200	220	
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	伝統文化を知っている市民の割合	%	79.7	80.8	73.0	74.0
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	270	262	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	20			
	予算合計	290	262		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	290			
	支出合計	290			

事務事業 コード	701120	事務 事業名	薩摩義士顕彰会運営支援事業				担当部	総務部
							担当課	総務課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	70		70	50		50	50		50
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	20		20	12		12	12		12
消耗品費	20		20	12		12	12		12
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	200		200	200		200	200		200
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	290		290	262		262	262		262

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	290		290	262		262	262		262
計	290		290	262		262	262		262

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	270千円		
	補正予算	20千円		
	第1回	20	第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計		290千円		

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	木曾三川の治水工事を行った薩摩義士の偉業を顕彰することは、現在も続く岐阜県民の薩摩義士に対する報恩感謝の気運を市民に広く学んでもらうとともに伝統文化を大切に思う心を育て、地域の伝統文化を知ることにつながります。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	宝暦治水工事を行った薩摩の先人、薩摩義士について顕彰を行うことは、地域の伝統文化を学び郷土を知る上で非常に有効であるので、妥当。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	薩摩義士の顕彰活動をとらえて薩摩義士の偉業を広く市民に知ってもらうため、対象を市民・顕彰会会員とした。また、薩摩義士の崇高な精神を広く市民に学んでもらうことにより、伝統文化を大切に思う心が育まれるため、意図としても妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	平成21年度に、会員の加入条件を一部廃止する規約の改正を行った。これにより、今後、会員の増が見込まれるので、成果の向上が期待できる。また、研修会の開催や広報誌の発行により、薩摩義士に興味を持ってもらうことで、成果の向上が期待できる。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	宝暦治水を行った薩摩義士の偉業を後世に伝える機会・手段が減少する。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、研修会の経費、調査広報誌の経費が主であり、会の運営上必要不可欠な費用であるため、削減の余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	薩摩義士顕彰会の事務局としての業務を行っている。平成19年度に発足した組織であり、現状で事務局機能を外部に移すことは難しい。当面は市が事務局を担い、時期をみて事務局を移していく。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	会員は広く募集しており、研修会への参加についても会員・非会員の制限を設けていない。調査研究の発表も広く市民に向けて行っているため、受益機会は公平。また、費用負担についても、会員から会費等を徴収し、会の運営に充てているので、公平・公正。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b> 会員の加入条件を一部廃止する規約の改正を行った。これにより、今後、会員の増加が見込まれる。引続き会員を増やす取組みを行っていく。また、研修会の開催や広報誌の発行により、多くの人に薩摩義士に興味を持ってもらう必要がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

#### (3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
薩摩義士研修会や海津市との姉妹都市交流事業などの機会をとらえて、引続き顕彰会の活動などを広報する。	平成22年度の状況を見ながら、必要な取組みを行っていく。

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	7	文化財保護費		特になし
コード	774311				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
地域住民に市内の文化財を広く紹介することで郷土の歴史を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むため、「霧島を知る」をテーマとした次のような、文化財保護啓発事業を実施する。 ①文化財に関するパンフレットの作成 ②市報に「郷土史への扉」を掲載 ③文化財保護強調週間の周知 ④「文化財防火デー」に合わせて、神社による防火訓練の実施 ⑤縄文シティサミット・全国史跡整備市町村協議大会への参加 ⑥調査した文化財の資料整理の実施 など			広報。文化財防火デー。「ぐるり霧島」パンフレット増刷。広報誌に「郷土史への扉」を掲載。文化財保護強調週間の周知化				
			平成22年度計画				
			広報。文化財防火デー。「ぐるり霧島」パンフレット増刷。広報誌に「郷土史への扉」を掲載。文化財保護強調週間の周知化				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	広報活動・情報発信の数	件	10	9	10	10	
イ	文化財防火訓練の実施	回	3	3	3	3	
ウ	パンフレット・文化財調査物の刊行部数	冊	2,500	2,700	4,000	3,000	
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	文化財に関心をもってもらう。	パンフレット等を刊行した数	冊	7,000	4,500	4,000	4,000
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	伝統文化を知っている市民の割合	%	79.7	80.8	73.0	74.0
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	1,779	21年度 (決算)	1,768	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	0					
	予算合計	1,779		1,768			
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	1,783					
	支出合計	1,783					
				市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加の傾向でパンフレットなどの資料請求などの要望が多く寄せられている。		特になし	

事務事業 コード	774311	事務 事業名	文化財保護啓発事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,081		1,081	1,082		1,082	1,082		1,082
8 報償費	25		25				4		4
9 旅費	365		365	352		352	400		400
10 交際費									
11 需用費	227		227	237		237	299		299
消耗品費							62		62
燃料費				10		10	10		10
食料費									
印刷製本費	227		227	227		227	227		227
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	85		85	97		97	97		97
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,783		1,783	1,768		1,768	1,882		1,882

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,783		1,783	1,768		1,768	1,882		1,882
計	1,783		1,783	1,768		1,768	1,882		1,882

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	1,779 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)	第5回		
	第2回 (9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	1,779 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介し、文化財の保護について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、文化財を大切にすることを意図しており適切である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化財愛護思想を高めることで、各種イベントへの参加者が増え、成果を高めることができる。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを怠ると、年々文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 各種イベント事業
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在でも市報やホームページを活用して意識啓発を行っており、これ以上の削減余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	意識啓発用の原稿作成等が主な業務であり、削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市報やHPなどを活用したりすることで、一様に情報を市民に提供することができる。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	歴史や文化財についての広報がまだ不十分と思われるので、これまでの広報活動に加え、各種イベント等と連携し、文化財を紹介するコーナーを設置するなどして情報発信をすることが必要である。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
①他団体・イベント等との連携により、さらに情報を提供する。 ②自然公園ふれあい全国大会やエコミュージアム事業などと連携し、新たな史跡めぐりコースを設定することでより多くの文化財を市民に紹介することができる。	各種団体が行うイベント等において、パネル展示を行うなどして文化財の保護の周知を図る。

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業		担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり			担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承			グループ	文化財グループ
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ			電話番号	42-1111
					内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 21 年度~)
	項	6	社会教育費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費		根拠法令・条例等	文化財保護法、霧島市文化財保護条例
コード	774318					
関連計画						

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
霧島市は古くは縄文時代から天孫降臨、クマノ・ハヤト伝説、大隅国の建国、島津氏の台頭など歴史的な文化財が多く点在している。そこで、新霧島市の合併に伴い、「霧島市を知る」をテーマとした事業を展開し、その一環として市内にある文化財をテーマ毎に紹介したハンドブックを作成する。市民へ販売予定。 ・事業実施年度 当面、平成21年度~平成30年度とする。(事業延長の可能性あり) ・刊行予定(テーマ):①霧島の田の神 ②霧島の神社 ③霧島の郷土芸能 ④霧島の城郭 ⑤霧島の史跡(石造物) ⑥霧島の遺跡 ⑦霧島の年中行事 ⑧霧島の天然記念物 ⑨霧島の石造物(石橋、石倉、水門、井堰) など ・パンフレット作成数 :2000冊/テーマ ・パンフレットは販売する予定 :300円(1冊)			市内各地区の田の神158基を調査し、報告書刊行の準備ができた。			
			平成22年度計画			
			①「霧島の田の神」報告書刊行②霧島の神社調査			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市を紹介する資料(刊行する冊子の数)	冊	0	0	2,000	2,000
イ	調査した文化財の数	件	0	158	119	84
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	ハンドブックで霧島市の文化財を知る	冊	0	0	50	100
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	人	79.7	80.8	73.0	74.0
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	165	900		
	予算合計	0	900		
決算額	国庫補助金	0	この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	125			
	支出合計	125			
				特になし	特になし

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度(決算)			平成22年度(当初予算)			平成23年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	65		65	205		205	410		410
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	60		60	695		695	720		720
消耗品費	20		20	15		15	30		30
燃料費	20		20	20		20	30		30
食料費									
印刷製本費	20		20	660		660	660		660
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	125		125	900		900	1,130		1,130

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他				250		250	480	
一般財源	125		125	650		650	650		650
計	125		125	900		900	1,130		1,130

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	165千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	165千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	



2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ハンドブックを作成することで市民が市内の文化財を正しく知ると共に、現存する文化財が後世に残る(記録保存)。結果として、地域の伝統文化を学び、地域を知ることができるという政策体系に結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統文化を市民に周知し、本市の歴史・文化への理解を深めてもらうことは市の役割である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市民と文化財とし、それぞれ文化財を知ることと、後世に伝えることを意図しており適切である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	毎年ジャンルごとの文化財を調査し、その成果をより多くの市民に購入してもらうことで成果は向上していく。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	消失する文化財も少なくなく、また、伝承されてきた無形の文化財も高齢化や核家族化に伴って失われつつあるため、早期の着手が必要である。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員自ら成果品の原稿作成まで行っており、これ以上のコスト削減の余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	資料としての質を高めるために専門家の方に一部執筆を依頼したり、文化財の所在地などは市民に情報提供を呼びかけたりして、職員の業務時間を削減する。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	刊行されたハンドブックは、文化財の情報を必要とする市民に有償で販売することで、受益と負担の公平性が保たれる。小冊子の価格を300円(1冊)とする根拠は、現在刊行している「霧島文化財ハンドブック」が300円で販売しているため。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各地区にそれぞれ調査員を1名配置したが、地区によって文化財の密疎があり、負担が偏った。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
平成22年度は霧島の神社調査を行うことと調査済みの田の神の調査報告書作成し、テーマ別のハンドブックの販売及び文化財や歴史に興味を持つ市民の増加を図りたい。  地域の文化財等に詳しい方々を調査員として募集し、効率的な調査に努める。(調査員の登録)	テーマによっては調査の事務量が多いため、調査員の確保に努めることと、調査結果のスムーズな公表のための調査計画の見直しを行う。

事務事業コード	752210	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業		担当部	商工観光部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり			担当課	観光課
施策名	4	伝統文化の保存・継承			グループ	観光G
基本事業名	2	保存団体への支援			電話番号	45-5111
					内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 15 年度~)
	項	1	商工費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費		根拠法令・条例等	
	コード	752210				
関連計画						

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
国分広瀬地区の潮遊池で毎年、8月16日に小村新田魚捕り組合が飼馬桶を半分に切った筏に乗り、「エッナ」と呼ばれるボラの子を投げ網で捕り、その場でさばいたエッナを酢味噌などで食するという精進落としの伝統行事に対し、行事開始の合図の花火打ち上げ、仮設トイレの設置及び給水車による水の提供などを行う。			事務事業の概要と同様			
			平成22年度計画			
		前年度と同様				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	仮設トイレ数	基	2	2	1	1
イ	給水車数	台	1	1	1	1
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	広瀬地区の住民	人	6,322	6,281	6,240	6,199
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	ハンギリだしを見せよう	人	160	250	250	250
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう。	人	2,644	2,515	2,450	2,450
イ	”	件	44	45	44	44

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	39	29	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 地域の伝統行事であるハンギリだしに参加される方々の利便性を図るため、平成15年から開始した。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。
	補正予算額	0			
	予算合計	39	29		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 特になし。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	39			
	支出合計	39			

事務事業 コード	752210	事務 事業名	「ハンギリだし」開催支援事業				担当部	商工観光部		
							担当課	観光課		

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	11		11	12		12	12		12
消耗品費	11		11	12		12	12		12
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	2		2	2		2	2		2
通信運搬費									
広告料									
手数料	2		2	2		2	2		2
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	26		26	15		15	15		15
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	39		39	29		29	29		29

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	39		39	29		29	29		29
計	39		39	29		29	29		29

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	39千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	39千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752210	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統行事を支援することは、伝統文化を継承し、広げることにつながり結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	年中行事の伝承活動への支援であり妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	ハンギリだしを継承していくためには、広瀬地区の住民がハンギリだしを見て体験してもらうことが重要であることから対象・意図を設定した。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	伝統文化を保存・継承するために行っている事業であり、観光課で実施するのではなく、教育委員会で他の伝統行事への支援と合わせて事業を実施した方が成果の向上余地がある。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を廃止した場合、衛生面に支障が出る。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	伝統行事の開始合図の花火代や当日のトイレレンタル料など最小限の事業費であり、削減の余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	仮設トイレの手配、給水車手配などや使用料の支出等の事務のみであり削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	魚釣り組合が行っている伝統行事であり、受益負担はなじまない。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		地元の魚取り組合が行う伝統行事で、今後保存・継承するために支援が必要であるが、事業を教育委員会で実施することにより、成果の向上が見込まれる。

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
<b>(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
地元の魚取り組合が行う伝統行事で、今後保存・継承するために支援が必要であるが、事業を教育委員会で実施することにより、成果の向上が見込まれる。  教育委員会と協議する。	教育委員会に移管できなかった場合は、引き続き保存・継承のために広瀬地区の方々 にハンギリだしの継承に対する理解を深めてもらうよう周知を行う。

事務事業コード	752214	事務事業名	ほぜ祭り開催支援事業	担当部	商工観光部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	観光課
施策名	4	伝統文化の保存継承		グループ	観光G
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 — 不明年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	4	観光費		
コード	752214				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p><b>手段</b> (事務事業の概要)</p> <p>ほぜ祭り実行委員会に補助金を交付し、ほぜ祭り実行委員会が行うほぜ祭りを支援している。                  (市の活動)ほぜ祭り実行委員会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。                  (ほぜ祭り実行委員会の活動) 11月23日に霧島神宮で五穀豊穰祈願と豊年を祝い奉納を行う行事として『ほぜ祭り』を行う。</p> <p>【ほぜ祭りの概要】豊年を祝い、神様への感謝のため奉納行事が行われる。地元スポーツ少年団による「子供みこし」を皮切りに、女性団体の踊り連、霧島中学校吹奏楽部の演奏、狭名田、栢田地区による棒踊り、霧島新ハンヤ節、俵踊り、ひよっこ踊りが奉納される。</p>						
補助金・負担金の交付先	ほぜ祭り実行委員会		補助金の対象経費	ほぜ祭り実行委員会の活動に要する経費		
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	ほぜ祭り延べ参加者数	人	2,800	4,800	5,000	5,000
イ						
ウ						
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民	人口	127,811	127,833	127,890	128,126
イ						
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)	<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	地域芸能に触れることができる。	参加団体数	21	21	21	21
イ						
ウ						
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)	<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	伝統芸能を継承し、広めてもらう。	郷土芸能に関わる人数	2,644	2,515	2,450	2,450
イ	〃	発表を行っている団体	44	45	44	44

(2) 事業費 単位：千円

	21年度(決算)	22年度(予算)
予算額	当初予算額	612
	補正予算額	523
	予算合計	612
決算額	国庫補助金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	一般財源	612
	支出合計	612

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
霧島神宮があることより、五穀豊穰のお祭りを昔より実施している。	特に変化なし。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業 コード	752214	事務 事業名	ほげ祭り開催支援事業	担 当 部	商工観光部
				担 当 課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
1	ほげ祭り実行委員会	補助金	612	補助金	523	補助金	445
		自主財源	541	自主財源	541	自主財源	541
	対象地区	合計	1,153	合計	1,064	合計	986
		自主財源率	47%	自主財源率	51%	自主財源率	55%
2		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計		補助金負担金合計	612	補助金負担金合計	523	補助金負担金合計	445
		自主財源合計	541	自主財源合計	541	自主財源合計	541
		自主財源率	47%	自主財源率	51%	自主財源率	55%

負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名	負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の交付先種別			
					全国	九州	県	その他
1								
2								
3								
4								
5								
合計								

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	612
補正予算	
合計	612

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	752214	事務事業名	ほぜ祭り開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ほぜ祭は、霧島神宮で五穀豊穡祈願と豊年を祝い奉納を行う伝統行事であり、伝統芸能を継承し、広めてもらうことに繋がりが結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めさせる必要があるので妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象はほぜ祭を通じて伝統芸能を市民が知ることができ、妥当である。意図はほぜまつりに触れる機会ができるので妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	地域の伝統行事であり、参加団体は固定化されているため、向上の余地はない。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	ほぜ祭を廃止すれば、市民が伝統文化に触れる機会が少なくなり、伝統文化を継承し、広めていくことができなくなる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の補助であり、これ以上削減の余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金支出手続き事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ほぜ祭りは、訪れた方が誰でも見ることができるので、公平・公正である。また五穀豊穡の祭りであり、受益者負担を行うことはなじまない。
総括	<b>(1)1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		霧島神宮に伝わる伝統行事であり、保存・継承を行うためには教育委員会で主管することが好ましいと思われる。

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1)評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	
<b>(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	752214	事務事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業		担当部	商工観光部	
政策名	4	育み磨きあうまちづくり			担当課	観光課	
施策名	4	伝統文化の保存継承			グループ	観光G	
基本事業名	2	保存団体への支援			電話番号	45-5111	
					内線番号	2611	
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	款	7	商工費			根拠法令・条例等	
	項	1	商工費				
	目	4	観光費				
	コード	752214					
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金						

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

天孫降臨霧島祭を実施している天孫降臨霧島祭実行委員会に補助金を交付している。  
 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。  
 (実行委員会の活動)天孫降臨霧島祭の開催  
 霧島祭は、夏に4日間の日程で行われ、霧島市民会館、みやまコンセール、霧島神宮(2日間)の3会場で霧島九面太鼓の太鼓演奏、霧島神楽振興会の霧島神楽、地域の郷土芸能などを披露し、地域の伝統芸能活性化を図ると共に、市外から誘客し市全体の観光活性化を図る。  
 ※同実行委員会は、祭を円滑に運営するために関係する団体の職員、市職員等で構成された組織である。

補助金・負担金の交付先	天孫降臨霧島祭実行委員会		補助金の対象経費	天孫降臨霧島祭活動に要する経費				
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	祭りに見に来た人の数		人	4,000	5,472	6,000	6,500	
イ								
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	市民、旅行代理店		市の人口(4/1付け)	人	128,128	128,383	128,640	128,868
イ			PRした旅行代理店数	社	10	10	10	10
ウ								
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	地域伝統芸能の活性化を図れる。		祭りに参加した芸能団体の数(延べ)	団体	38	39	38	38
イ	地域伝統芸能に触れる機会を得られる。		ツアー企画に興味を持った旅行代理店	社	10	10	10	10
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	伝統芸能を継承し、広めてもらう。		郷土芸能に関わる人数	人	2,644	2,515	2,450	2,450
イ	"		発表を行っている団体数	団体	44	45	44	44

(2) 事業費			単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等		
	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？		
予算額	当初予算額	8,006	旧霧島町で行われていた神楽祭りや旧牧園町で行われていた霧島高原太鼓まつりを合併を機に平成18年より天孫降臨霧島祭として一つの祭に統合し、本市の地域の伝統芸能の啓蒙を図ることを目的に開催された。		合併を機に旧霧島地区・牧園地区で行われていた二大祭を天孫降臨霧島祭として一つの祭として統合し、天孫降臨の地「霧島」を内外に強くPRするため。		
	補正予算額	-2					
	予算合計	8,004					
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？		この事務事業に対する議会から出された意見		
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	8,004					
	支出合計	8,004	特になし。		特になし。		



事務事業 コード	752214	事務 事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業						担 当 部	商工観光部
									担 当 課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)									
1	天孫降臨霧島祭実行委員会							補助金	8,004	補助金	7,800	補助金	7,800		
								自主財源	2,495	自主財源	2,470	自主財源	2,470		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	10,499	合計	10,270	合計	10,270
			○			○	○			自主財源率	24%	自主財源率	24%	自主財源率	24%
2								補助金		補助金		補助金			
								自主財源		自主財源		自主財源			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3								補助金		補助金		補助金			
								自主財源		自主財源		自主財源			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4								補助金		補助金		補助金			
								自主財源		自主財源		自主財源			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5								補助金		補助金		補助金			
								自主財源		自主財源		自主財源			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6								補助金		補助金		補助金			
								自主財源		自主財源		自主財源			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7								補助金		補助金		補助金			
								自主財源		自主財源		自主財源			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8								補助金		補助金		補助金			
								自主財源		自主財源		自主財源			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9								補助金		補助金		補助金			
								自主財源		自主財源		自主財源			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計		補助金負担金合計		8,004	補助金負担金合計		7,800	補助金負担金合計		7,800	補助金負担金合計		7,800		
		自主財源合計		2,495	自主財源合計		2,470	自主財源合計		2,470	自主財源合計		2,470		
		自主財源率		24%	自主財源率		24%	自主財源率		24%	自主財源率		24%		

負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の交付先種別			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
合計							

平成21年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	8,006
補正予算	(2)
合計	8,004

第1回 (1月)	-2	第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	752214	事務事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内の3会場で祭を開催し、伝統行事を披露する事は伝統文化を継承し、広めてもらうことに結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市の役割であるので妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、祭を見に来る市民及び観光客で妥当である。意図は、祭を開催することにより地域伝統芸能の活性化を図ることに結びついているので妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	祭の開催場所を増やしたり、参加団体を増やすことにより、市民が伝統芸能に触れる機会が増える。さらに旅行代理店と連携し新しい商品造成を依頼していくことで、ツアー参加者も望めるなどの向上の余地がある。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を廃止すれば、伝統芸能を披露する機会が損なわれるので影響がある。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)  はんぎりだし、ほぜ祭
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	入場料を徴収し祭りの運営に充てているが、補助金の予算額も年々削減されている状態であるので削減の余地がない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金の交付事務については最低限の事務であるので削減の余地はないが、祭の運営等に関しては開催場所の地域住民やボランティア等を活用することにより削減の余地がある。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島祭では、地域の伝統芸能・歴史に触れる機会を広く市民に提供しており、公平・公正であると思われる。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  伝統芸能を披露する祭は少なく貴重な事業となっている。開催会場を増やしたり、参加団体の数を増やしていれば成果の向上が見込まれる。教育委員会とも民芸保存として移管できないか協議をするも、本事業は伝統行事ではないので移管はできないとの見解であったが、今後も協議を行う必要がある。 ツアー商品はまだ無いが、引き続き旅行会社に依頼していく必要がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
<b>(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>	
<b>平成22年度の取組み概要及び期待される効果</b>	<b>平成23年度に取り組むべき具体的な内容</b>
地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めると同時に観光客の誘客にも努めていく。具体的には、旅行会社にツアー商品造成依頼を引き続き行っていく。また、効率性改善としては地元住民やボランティアの協力を募り、コスト削減に努めていく。	地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めると同時に観光客の誘客にも努めていく。具体的には、旅行会社にツアー商品造成依頼を引き続き行っていく。また、効率性改善としては地元住民やボランティアの協力を募り、コスト削減に努めていく。

事務事業コード	752238	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担当部	商工観光部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	観光課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	観光グループ
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 39 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752238				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

**手段** (事務事業の概要)

隼人町民芸保存会の運営費補助として補助金を交付している。  
 (市の活動)  
 隼人町民芸保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。  
 (隼人町民芸保存会の活動)  
 13(御田植祭、田の神舞、トド組、太鼓踊り、棒踊り、隼人浜下り、郷土玩具、鈴かけ馬踊り、かぎ引き、琉球人踊り、米作り踊り、魚とり踊り、隼人弓)の郷土芸能の保存・継承活動及び伝統工芸、郷土玩具の保存・継承活動

補助金・負担金の交付先	隼人町民芸保存会	補助金の対象経費	運営費			
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 補助した団体数		団体	1	1	1	1
イ						
ウ						
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 隼人町民芸保存会	団体数	団体	13	13	13	13
イ						
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)	<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 郷土芸能の保存・継承活動に取り組んでもらう。	保存・継承活動を行った民芸保存会の郷土芸能等の数		13	13	13	13
イ						
ウ						
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)	<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 伝統文化を継承し、広めてもらう。	郷土芸能に関わる人数(団体登録者)	人	2,644	2,515	2,450	2,450
イ	発表を行っている団体数	団体	44	45	44	44

(2) 事業費 単位：千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)
予算額		
当初予算額	3,770	3,393
補正予算額		
予算合計	3,770	3,393
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	3,770	
支出合計	3,770	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
昭和39年に隼人町固有の伝統的な郷土民芸、郷土玩具等を文化財あるいは観光資源として、未永く保存して伝えていくために、隼人町民芸保存会が発足している。	後継者不足、活動資金不足が深刻である。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
自主財源の確保が難しい中で、補助金が年々カットされるため、民芸保存会の存続が困難になる一方である。	特になし

事務事業コード	752238	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	隼人町民芸保存会									13人	補助金	3,770	補助金	3,393	補助金	3,393
											自主財源	247	自主財源	211	自主財源	211
	対象地区										合計	4,017	合計	3,604	合計	3,604
	対象地区									○	自主財源率	6%	自主財源率	6%	自主財源率	6%
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区										合計		合計		合計	
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計										13人	補助金負担金合計	3,770	補助金負担金合計	3,393	補助金負担金合計	3,393
											自主財源合計	247	自主財源合計	211	自主財源合計	211
											自主財源率	6%	自主財源率	6%	自主財源率	6%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					全国	九州	県	その他
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

平成21年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	3,770
補正予算	
合計	3,770

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	752238	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	隼人町民芸保存会への支援であり、伝統文化を継承し、広めてもらうことに結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能や年中行事の伝承活動への支援であり、妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は伝統文化を継承し、広めてもらう団体であり妥当である。意図は隼人町民芸保存会の円滑な運営と財政の健全化を図ることにより伝統文化を継承し、広めてもらうことに繋がるので妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	隼人町民芸保存会に対する運営補助であり、向上の余地はない。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	自主財源のみでは保存・継承ができなくなり、伝統文化が消滅する恐れがある。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 他の民俗芸能伝承団体に対する運営補助  他の民俗芸能団体に対する運営補助は文化振興課の事務であり、協議が必要である。
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	自主財源が少なく、これ以上の削減は保存・継承に支障をきたす。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金交付事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統文化を継承し、広めてもらうことにより、市民が伝統文化に触れる機会を持って、より郷土の歴史を知り、伝統文化を大切にすることを育むことに繋がるので、公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		他の類似事業と窓口を一本化することにより、伝承活動に対する支援を一体的に進める必要がある。

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 ・市内の民俗芸能団体を包括的に支援する(仮称)霧島市民芸保存会設立の検討する。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 ・(仮称)霧島市民芸保存会設立の検討

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等理念条例
	コード	774319			霧島市補助金等交付規則
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)								
昔から受け継がれてきた郷土芸能を絶やさないために、郷土芸能保存団体に対して活動補助をする。また、出演の機会の提供を行う。								
主な業務の内容								
①郷土芸能保存活動事業費補助金(運営補助)								
②イベント等への出演依頼								
郷土芸能保存団体の活動								
①郷土芸能の保存継承								
②地域の行事やイベントでの郷土芸能の発表								
補助金・負担金の交付先	郷土芸能保存会		補助金の対象経費	郷土芸能を継承するための運営補助				
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	運営補助している郷土芸能保存会の数		団体	16	16	16	16	
イ	イベント等への出演を行った団体の数		団体	44	45	45	46	
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	保存団体		霧島市内の郷土芸能保存団体数	団体	44	44	45	46
イ	市民		霧島市の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	郷土芸能が保存・継承される		団体の会員数が増えた団体数	団体	2	3	2	2
イ	伝統文化にふれる機会を持つ		団体の発表の数	回	32	35	36	37
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう。		発表を行っている団体の数	団体	44	45	44	44
イ								

(2) 事業費 単位：千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)
予算額		
当初予算額	549	3,424
補正予算額		
予算合計	549	3,424
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	549	
支出合計	549	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
土に受け継がれてきた伝統芸能を後世に残すため。また、後継者を育成するために始められた。運営補助としては、昭和50年代から実施している。	生活文化の多様化や急速な社会変化により地域の連帯感が薄れ、地域の伝統文化などを継承する社会力が低下している。保存会会員の高齢化が進むことで、郷土芸能保存会を継承する人が少なくなっている。(平成18年度:34団体中2団体が活動休止)
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
地域による伝統文化の継承活動に要する経費(補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露してもらいたいとの要望が寄せられている。	特になし

事務事業 コード	774319	事務 事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業						担当部	教育部
									担当課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	下井道化踊り保存会									18人	補助金 40	補助金 40	補助金 40	補助金 40	補助金 40
										18人	自主財源 40	自主財源 47	自主財源 47	自主財源 47	自主財源 47
	合計									80	87	87	87	87	
対象地区									○	50%	54%	54%	54%	54%	
2	清水田の神舞保存会									13人	補助金 36	補助金 36	補助金 36	補助金 36	補助金 36
										13人	自主財源 111	自主財源 51	自主財源 55	自主財源 55	自主財源 55
	合計									147	87	91	91	91	
対象地区									○	76%	59%	60%	60%	60%	
3	敷根琉球人踊り保存会									31人	補助金 36	補助金 36	補助金 36	補助金 36	補助金 36
										31人	自主財源 54	自主財源 40	自主財源 55	自主財源 55	自主財源 55
	合計									90	76	91	91	91	
対象地区									○	60%	53%	60%	60%	60%	
4	重久神舞保存会									18人	補助金 37	補助金 37	補助金 37	補助金 37	補助金 37
										18人	自主財源 95	自主財源 106	自主財源 106	自主財源 106	自主財源 106
	合計									132	143	143	143	143	
対象地区									○	72%	74%	74%	74%	74%	
5	重久太鼓踊り保存会									25人	補助金 63	補助金 63	補助金 63	補助金 63	補助金 63
										25人	自主財源 70	自主財源 67	自主財源 67	自主財源 67	自主財源 67
	合計									133	130	130	130	130	
対象地区									○	53%	52%	52%	52%	52%	
6	広瀬道化踊り保存会									18人	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45
										18人	自主財源 63	自主財源 50	自主財源 95	自主財源 95	自主財源 95
	合計									108	95	140	140	140	
対象地区									○	58%	53%	68%	68%	68%	
7	府中太鼓踊り保存会									43人	補助金 63	補助金 63	補助金 63	補助金 63	補助金 63
										43人	自主財源 94	自主財源 98	自主財源 98	自主財源 98	自主財源 98
	合計									157	161	161	161	161	
対象地区									○	60%	61%	61%	61%	61%	
8	小脇郷土芸能保存会									8人	補助金 33	補助金 33	補助金 33	補助金 33	補助金 33
										8人	自主財源 18	自主財源 18	自主財源 18	自主財源 18	自主財源 18
	合計									51	51	51	51	51	
対象地区									○	35%	35%	35%	35%	35%	
9	三体棒踊り保存会									23人	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45
										23人	自主財源 241	自主財源 231	自主財源 231	自主財源 231	自主財源 231
	合計									286	276	276	276	276	
対象地区									○	84%	84%	84%	84%	84%	
10	万膳太鼓踊り保存会									24人	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45	補助金 45
										24人	自主財源 20	自主財源 15	自主財源 15	自主財源 15	自主財源 15
	合計									65	60	60	60	60	
対象地区									○	31%	25%	25%	25%	25%	
11	田口棒踊り保存会									16人	補助金	補助金 28	補助金 28	補助金 28	補助金 28
										16人	自主財源	自主財源 43	自主財源 43	自主財源 43	自主財源 43
	合計										71	71	71	71	
対象地区									○		61%	61%	61%	61%	
12	田口田の神舞保存会									6人	補助金 26	補助金 26	補助金 26	補助金 26	補助金 26
										6人	自主財源 1	自主財源 1	自主財源 1	自主財源 1	自主財源 1
	合計									27	27	27	27	27	
対象地区									○	4%	4%	4%	4%	4%	
13	霧島俵踊り保存会									20人	補助金 31	補助金 31	補助金 31	補助金 31	補助金 31
										20人	自主財源 37	自主財源 45	自主財源 45	自主財源 45	自主財源 45
	合計									68	76	76	76	76	
対象地区									○	54%	59%	59%	59%	59%	
14	柗田棒踊り保存会									12人	補助金	補助金 18	補助金 18	補助金 18	補助金 18
										12人	自主財源	自主財源 55	自主財源 55	自主財源 55	自主財源 55
	合計										73	73	73	73	
対象地区									○		75%	75%	75%	75%	

15	川路原刀踊り保存会								18人	補助金	24	補助金	24	補助金	24
										自主財源	26	自主財源	26	自主財源	26
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	50	合計	50	合計	50
								○	自主財源率	52%	自主財源率	52%	自主財源率	52%	
16	新原鎌踊り保存会								37人	補助金	25	補助金	25	補助金	25
										自主財源	26	自主財源	26	自主財源	26
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	51	合計	51	合計	51
								○	自主財源率	51%	自主財源率	51%	自主財源率	51%	
17										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
18										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
19										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
20										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計								221人	補助金負担金合計	549	補助金負担金合計	595	補助金負担金合計	595	
									自主財源合計	896	自主財源合計	919	自主財源合計	983	
									自主財源率	62%	自主財源率	61%	自主財源率	62%	

**負担金の状況**

単位：千円

団体名・協議会名	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
合計							

**平成21年度予算の状況**

**< 補正予算内訳 >**

単位：千円

当初予算	549
補正予算	
合計	549

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			



事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、郷土芸能に対する意識の高揚が図られる。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保護と活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、市民への披露などが充実することから、対象・意図とも妥当である。

B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	高齢化に伴う後継者不足が切実な問題となっているが、会員数が増える団体が出てくれば、本事業の成果は向上すると思われるので、さらに、これまで以上に各保存会が出演する機会の提供を行ってほしい。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)  隼人町民芸保存会運営支援事業

C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本来郷土芸能は、それぞれの地域に根付いたものであり、保存会のみでの保存継承ではなく地域全体が取り組む体制が必要である。そのため、保存会への運営補助を削減することは厳しい状況である。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事務事業は郷土芸能保存会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上の出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。

D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ郷土芸能はその地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、保存会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。
----------------	--	---	---

総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>	<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	高齢化等で各保存会の会員数が減少傾向にあるため、地域全体で保存を考える必要がある。発表の機会については、地域の行事等で出演の機会が若干ではあるが増加しているのではと考えている。引き続き発表の機会の増について支援を行う必要がある。

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

<b>(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 各地区1団体による郷土芸能を発表する場として、第1回郷土芸能祭を開催し、出場機会を増加する。隼人町民芸保存会運営支援事業との統合の可能性について協議を行う。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 ①郷土芸能祭開催の継続 ②市全体の郷土芸能保存団体の結成

事務事業コード	774225	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	教育振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	教育グループ
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	57-1111
				内線番号	5840
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774225				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

霧島地区に伝わってきた「霧島神楽」を約80年ぶり復活した。この貴重な郷土芸能を後世に伝える為、振興会の運営を支援するため助成するものである。

< 振興会の活動内容 >

- ・伝統芸能伝承のための定期練習会の開催
- ・天孫降臨霧島祭への参加(例年)、公民館講座の指導、きりしまチャレンジャーでの神楽指導、など

< 事務事業 >

- ・補助金交付に係る諸手続き

補助金・負担金の交付先	霧島神楽振興会	補助金の対象経費	霧島神楽振興会の運営に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 霧島神楽振興会公演回数		回	25	24	25	25
イ 講習の延回数		回	28	28	25	25
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 市民	市民	人	127,450	127,662	128,640	128,868
イ 神楽振興会会員	神楽振興会会員数	人	42	38	40	41
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 霧島神楽を知ってもらおう	南九州神楽祭り参加者数	人	4,400	7,290	4,500	4,600
イ 霧島神楽を伝承する	伝承のための講習会への参加人数	人	225	329	340	350
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 伝統文化を継承し、広めてもらう	団体登録者数	団体	2,644	2,515	2,515	2,515
イ						

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度 (決算)	447	22年度 (予算)	429	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額						
	予算合計	447	429				
決算額	国庫補助金					この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	429					
支出合計	429						
						地域住民から霧島神楽を大切に守り伝えていくべきだという意見が寄せられている。	特になし

事務事業 コード	774225	事務 事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	教育振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島神楽振興会									38人	補助金	477	補助金	429	補助金	429
											自主財源	957	自主財源	360	自主財源	360
	合計										1,434	合計	789	合計	789	
										自主財源率	67%	自主財源率	46%	自主財源率	46%	
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										38人	補助金負担金合計	477	補助金負担金合計	429	補助金負担金合計	429
											自主財源合計	957	自主財源合計	360	自主財源合計	360
											自主財源率	67%	自主財源率	46%	自主財源率	46%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	447
補正予算	
合計	447

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	774225	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>		
	・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、伝統文化を継承し、広めてもらうことにつながる。
	<b>公共関与の妥当性</b>		
	・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保護と活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
B 有効性 評価	<b>対象・意図の妥当性</b>		
	・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、市民への披露などが充実することから、対象・意図とも妥当である。
	<b>成果の向上余地</b>		
C 効率性 評価	・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	地域の行事や運動会、文化祭、市主催の行事など、これまで以上に振興会が出演する機会の提供を図ることで、振興会の活性化や後継者育成に結びつけて行くことができる。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>		
	・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
D 公平性 評価	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>		
	・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>		
	・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本来郷土芸能は、それぞれの地域に根付いたものであり、保存会のみでの保存継承ではなく地域全体が取り組む体制が必要である。そのため、保存会への運営補助を削減することは厳しい状況である。
D 公平性 評価	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>		
	・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事務事業は振興会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上に出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>		
	・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、郷土芸能は国民共有の財産であり、その地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、振興会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。
総括	<b>(1)1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の行事への出演やみやまコンセールでの定期的な発表を行っている。今後は振興会の活性化を図るため、神楽師確保や新たな座の創設などに取り組むことも必要と考える。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1)評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
・各種イベント等への出演や神楽講座の実施。 ・霧島神楽を周知するとともに、振興会の活性化を図る。	・これまで出演してきたイベント等以外にも積極的に出演できるように、関係者との連携を図っていく。

事務事業コード	774310	事務事業名	文化財整備事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 62 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市文化財保護条例
コード	774310				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

**手段** (事務事業の概要)

市内の文化財を後世に残すため、文化財の修復、復元、養生、整備や文化財周辺の環境整備を行う。また、文化財の由来などを記した説明板を設置する事により、見学者に対して文化財を正しく理解してもらう。

※環境整備とは、文化財整備を終えた文化財の維持管理のことをいう。

(市の活動)文化財の養生や周辺の環境整備及び霧島神宮・鹿児島神宮への補助金支出事務  
(霧島神宮の活動)国指定建造物の社殿改修、事業実施期間平成21年度～27年度、平成23年度工事予定期間平成22年4月～平成23年3月、  
(鹿児島神宮の活動)県指定建造物の本殿壁画修復、事業実施期間平成21年度～25年度、平成23年度工事予定期間平成22年6月～平成23年9月

補助金・負担金の交付先	霧島神宮・鹿児島神宮	補助金の対象経費	霧島神宮は経費の1/6、鹿児島神宮は1/3			
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 整備した文化財の数		件	4	4	4	4
イ 設置した文化財説明板・標柱の数		カ所	20	12	15	15
ウ 環境整備を実施する文化財の数		件	46	46	46	46
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 市内の文化財	市内文化財の数	カ所	667	684	690	710
イ						
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)	<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 修復、復元、養生を実施する	環境整備を実施した文化財の数	件	4	4	4	4
イ 文化財について解説し、正確な情報を提供する	設置した文化財説明板・標柱の数	部	20	12	15	15
ウ 清掃等周辺整備を行う	環境整備を実施する文化財の数	件	46	46	46	46
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)	<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 文化財を適切に保存し、後世に残す	整備する文化財の数(累計)	件	237	248	284	305
イ						

(2)事業費 単位：千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)
予算額		
当初予算額	8,604	15,942
補正予算額		
予算合計	8,604	15,942
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	8,729	
支出合計	8,729	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
見学者のために、文化財周辺を含めた環境整備や文化財の正確な情報を提供する目的で説明板を設置した。	風水害等による破損や、老朽化による取替えが毎年発生している。草払い等を実施することにより、ゴミの放置が少なくなった。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
一般市民から ・文化財の経緯等が、説明板でわかった。 ・草払いや掃除で、きれいになった。 ・案内標柱を設置して欲しい場所がある。	特になし

事務事業 コード	774310	事務 事業名	文化財整備事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島神宮									補助金	6,000	補助金	10,800	補助金	10,800
										自主財源	24,000	自主財源	43,200	自主財源	43,200
	合計									30,000	80%	54,000	80%	54,000	80%
2	鹿児島神宮									補助金	487	補助金	973	補助金	973
										自主財源	973	自主財源	1,947	自主財源	1,947
	合計									1,460	67%	2,920	67%	2,920	67%
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
計										補助金負担金合計	6,487	補助金負担金合計	11,773	補助金負担金合計	11,773
										自主財源合計	24,973	自主財源合計	45,147	自主財源合計	45,147
										自主財源率	79%	自主財源率	79%	自主財源率	79%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
													全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	8,604
補正予算	
合計	8,604

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の修復、復元、養生等の整備を図り、文化財説明看板で見学者へ情報提供することは、文化財を適切に保存し、後世へ残すことにつながる。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産である。当市の財産を整備し、広く市民へ知らしめ、後世へ残していくことは市の重要な責務である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市全域の文化財を対象としており、適切な範囲である。また、今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財を整備し、市民へ情報発信し、後世に伝える必要があることから意図も適切である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	毎年度文化財の周辺整備(清掃等)を行い、説明板等を順次整備していけば、本事業の成果は向上していく。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、見学者への情報提供もされず、市民の文化財愛護思想の低下につながる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、文化財の保存のために必要不可欠な修復、養生を実施している。今後、文化財活用の面から考えて整備対象を増やしていく必要があるため、これ以上の削減余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は概ね委託により実施している。事業に関する人件費については、少人数で仕様書作成、委託先選定、契約事務、検査を行っており、節減・節約はできない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は国民共有の財産であり、受益者は広く市民となるため、公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b> 文化財や案内看板の現状を正確に把握し、優先順位をつけて計画的な整備を行うことで、市民への周知を図る。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
<b>(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
文化財の現状(案内板、標柱等を含む)について調査を行い、整備計画書作成の準備を行う。修復が終了した文化財については公開や広報を行うことで関心を高めていく。	文化財の整備計画書を作成し、計画的な整備に取り組む。県の文化財巡視指導員や地域の住民などの協力を得て、文化財の定期的な点検制度の確立について協議を行う。

事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	文化財グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	42-1111
基本事業名	3	文化財の保存・整備		内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度 ~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	文化財保護法、霧島市文化財保護条例
	コード	774313			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<b>手段</b> (事務事業の概要) 埋蔵文化財が包蔵されている土地において開発行為により、破壊される埋蔵文化財を事前に発掘調査し、その成果を報告書にまとめ、記録保存として遺跡を後世に残す。		主な活動	平成21年度実績 民間開発及び公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査を実施した。 ①福山牧之原地区②国分春山地区③溝辺町曲迫遺跡				
			平成22年度計画 ①軍山遺跡の調査②緊急調査への対応				
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	緊急埋蔵文化財発掘調査の数	件	8	5	3	3	
イ	発掘調査報告書の数	冊	300	600	300	300	
ウ							
<b>対象</b> (誰、何を対象としているのか)		<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	周知の埋蔵文化財包蔵地	周知の埋蔵文化財包蔵地の数	カ所	518	523	530	540
イ	市民	人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
ウ							
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)		<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	遺跡が記録保存される	記録保存された遺跡の数	件	8	5	3	3
イ							
ウ							
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)		<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	文化財を適切に保存し、後世に残す。	保存されている文化財の数	件	667	684	690	700
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度 (決算)	1,634	22年度 (予算)	10,701	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 昭和25年文化財保護法の制定に伴い、埋蔵文化財の保護について取組んできた。霧島市においても平成17年度(合併当初)から緊急な発掘調査に対応するため予算を計上している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 緊急に発掘調査を実施するケースが増えてきており、工事立会い等も増加している。
	補正予算額	0					
	予算合計	1,634	10,701				
決算額	国庫補助金	0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 民間開発に伴う発掘調査については、民間業者の意見として早急な対応をしてほしい。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	528					
支出合計	528						



事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費				19		19	19		19
7 賃金	61		61	4,017		4,017	4,017		4,017
8 報償費				30		30	30		30
9 旅費				9		9	9		9
10 交際費									
11 需用費				690		690	703		703
消耗品費				186		186	186		186
燃料費				62		62	62		62
食料費							5		5
印刷製本費				442		442	450		450
光熱水費									
修繕料									
12 役務費				65		65	65		65
通信運搬費				60		60	60		60
広告料									
手数料				5		5	5		5
保険料									
13 委託料	467		467	4,090		4,090	5,000		5,000
14 使用料及び賃借料				1,781		1,781	1,800		1,800
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	528		528	10,701		10,701	11,643		11,643

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他				9,000		9,000	9,000	
一般財源	528		528	1,701		1,701	2,643		2,643
計	528		528	10,701		10,701	11,643		11,643

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	1,634 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,634 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種開発行為に伴い、周知の埋蔵文化財包蔵地を調査し、記録、保存することは、文化財を適切に保存することに結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種法令により、調査主体は行政であることが求められているため妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	調査された遺跡・遺物についての実施であり、対象・意図ともに変える必要はない。

B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	緊急調査に対処することについては向上余地はないと考える。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財保護法に則って実施する事業であり、廃止・休止することはできない。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)

C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、作業に必要な最低限の消耗品費、光熱費、手数料、保険料、委託料しかなく、これ以上の削減は不可能である。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	常勤職員は別事業との兼務が多く、厳しい状況であるが、業務を他機関に委託することによって業務時間を削減できる。但し、開発者の経費負担が増となるため検討を要する。

D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護法に則って実施する事業であり、公平性は保たれている。
----------------	---	---	---------------------------------

総括	<b>(1)1次評価者(課長)としての評価結果</b>	<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ほとんどが緊急を要する調査で、職員での対応が難しい場合が多いので、民間業者の活用が必要である。余裕を持った事業計画策定について、事業主や建設業者への広報が必要である。

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1)評価結果にもとづく今後の方向性	(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

#### (3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
調査の効率化を高めるために、作業従事者の専門性の向上を図るとともに、作業工程等の見直しを行う。特に専門性の高い作業等については、外部に委託し効率化を図る。	事業主や建設会社等に対し、文化財包蔵地の周知の徹底を図るとともに、文化財の確認制度等について広報を行う。

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 11 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	地方自治法、文化財保護法
	コード	774314			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡(社家館跡等)の範囲や遺構の確認、さらには史跡整備のための基礎資料を得るため、発掘調査(確認調査)を行う。 また、国庫補助の対象となる個人または零細企業が実施する開発行為に対応するための発掘調査を実施する。 ①大隅国分寺跡及びその周辺(国分寺域内)の確認調査の実施。 ②大隅正八幡(鹿児島神宮)社家の確認調査の実施。 ③発掘調査(国庫補助対象分)の実施。			大隅国分寺跡・大隅正八幡宮跡・緊急埋蔵文化財発掘調査			
			平成22年度計画			
			①沢氏館跡の調査②最勝寺氏館跡の調査③調査指導委員会の開催			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	範囲確認調査の数(整理作業含む)	件	2	3	2	2
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡(社家館跡等)	箇所	2	3	2	2
イ	市内にある周知の埋蔵文化財包蔵地	件	518	523	525	527
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	遺跡の範囲や遺物・遺構の残存状況を把握する。	m <sup>2</sup>	306	80	100	100
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	適切に保存し、後世に残す。	カ所	667	684	690	710
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	7,010	21年度(決算)	5,010	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 大隅国分寺跡の整備を図るための範囲等確認を平成11年から国庫補助を導入し開始した。また、大隅正八幡(鹿児島神宮)関連遺跡群の範囲確認調査も平成12年度から補助事業を導入し実施している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 一時期に比べ、開発行為が増えてきており、確認調査及び工事立会いの件数も増加傾向である。範囲確認調査や緊急発掘調査の実施により多くの遺跡に関する調査結果が得られた。
	補正予算額	0					
	予算合計	7,010		5,010			
決算額	国庫補助金	3,500			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 国(文化庁)や県の担当者並びに大学教授等の専門家から高い評価を受け、詳細な調査や遺跡保存の必要性の指摘を受けている。一方、開発行為者(事業者)からは迅速な対応を求められている。	この事務事業に対する議会から出された意見 大隅国分寺跡前の市道拡張と文化財との調整について	
	県支出金	700					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	2,800					
支出合計	7,000						

事務事業 コード	774314	事務 事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費		15	15		12	12		15	15
7 賃金		4,802	4,802		2,428	2,428		4,802	4,802
8 報償費		60	60		140	140		13	13
9 旅費		272	272		985	985		980	980
10 交際費									
11 需用費		757	757		120	120		820	820
消耗品費		339	339		105	105		300	300
燃料費		20	20		5	5		20	20
食料費									
印刷製本費		351	351		10	10		500	500
光熱水費		47	47						
修繕料									
12 役務費					169	169		150	150
通信運搬費									
広告料									
手数料					169	169		150	150
保険料									
13 委託料		750	750		1,090	1,090		900	900
14 使用料及び賃借料		344	344		66	66		320	320
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計		7,000	7,000		5,010	5,010		8,000	8,000

財源内訳	国		3,500	3,500		2,500	2,500		4,000	4,000
	県		700	700		500	500		800	800
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源		2,800	2,800		2,010	2,010		3,200	3,200	
計		7,000	7,000		5,010	5,010		8,000	8,000	

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成 21 年度	当初予算	7,010 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計		7,010 千円		

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡は本市を代表する文化財であり、これを保存・整備することにより、市民や霧島を訪れた人が本市の歴史・文化を正しく理解し文化財に対する意識が深まるとともに、文化財を大切にすることを心がけるようになる。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保護と活用は、地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、文化財の保護・整備は市が行わなければならない事務事業である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡は市街地内にあり、都市化が進む中で、遺跡の破壊・消失が懸念されているところであるので、早急な対応が必要である。

B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	調査が進むごとに、遺跡の範囲や遺構が判明するので成果は向上していく。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	両遺跡とも市街地にあり都市化が進んできている。このままの状態でおくと、遺跡の破壊・消失が懸念される。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)

C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	発掘調査の作業のほとんどが手作業であり、また現地は市街地で住宅等に囲まれた場所が多く、大型機械の導入も難しいので、作業効率も悪く、事業費削減は厳しい。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	測量機器の導入、石器・土器などの遺物実測の委託など、職員の事務量の軽減を図ることができる。但し、委託などに伴う費用は必要となる。

D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ遺跡はその地域の歴史を色濃く残すものである。文化財の保護と活用は地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、これらのことを考慮すると、行政が実施するのはやむを得ない。
----------------	---	---	--

総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>	<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅正八幡宮関連遺跡群については国指定を目指しており、調査指導委員会委員の意見を調査に反映させるためには、精密機器の導入や文化財専門員を保有している民間業者への委託が必要と考えている。

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

<b>(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
埋蔵文化財専門の測量員がいる民間業者を積極的に活用することで、事業の効率性を高める。民間の高い技術を活用することで、高い精度の成果を得ることができる。	国指定具申に向けての最終的な成果の取りまとめ

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 6 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	文化財保護法、霧島市文化財保護条例
コード	774315				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
福山及び単人地区内において合併前に実施した発掘調査により出土した遺物を実測し、時代別種類別に整理しまとめて報告書を作成する。 <報告書作成日程> 平成20年度 整理作業・遺物実測等 平成21年度 遺物実測・報告書作成 平成22年度 遺物実測・報告書作成			福山地区中袖木遺跡・弥勒院跡発掘調査報告書刊行			
			平成22年度計画			
		亀ノ甲遺跡・気色の杜遺跡出土品整理作業				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	発掘の面積	㎡	6,000	300	500	500
イ	調査する文化財の数	件	0	0	2	2
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	文化財(埋蔵文化財)	点	2,500	2,500	3,000	3,000
イ	"	件	0	0	2	2
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	実測・接合し時代別に整理する	点	500	700	150	500
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	適切に保存し、後世に残す。	件	667	684	690	700
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	6,245	3,264	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 合併前にそれぞれの地区において開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。その遺跡の整理作業を行い、報告書を作成する必要がある。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 開発行為に伴う発掘や工事立会いが増えている。埋蔵文化財担当職員の他部署への異動や仕事量の増加によって、発掘調査を単年度で完了できなくなってきた。
	補正予算額	0			
	予算合計	6,245	3,264		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 公共工事・民間開発行為者から、迅速な対応をして欲しいとの要望がある。	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	6,157			
支出合計	6,157				

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費	2		2	11		11	11		11
7 賃金	2,756		2,756	2,226		2,226	2,300		2,300
8 報償費	10		10				1		1
9 旅費				5		5	5		5
10 交際費									
11 需用費	1,737		1,737	851		851	1,037		1,037
消耗品費	100		100	71		71	100		100
燃料費	7		7	51		51	7		7
食料費									
印刷製本費	1,399		1,399	30		30	200		200
光熱水費	213		213	669		669	700		700
修繕料	18		18	30		30	30		30
12 役員費	99		99	35		35	99		99
通信運搬費	80		80	35		35	80		80
広告料									
手数料									
保険料	19		19				19		19
13 委託料	1,460		1,460	42		42	1,500		1,500
14 使用料及び賃借料	93		93	94		94	90		90
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	6,157		6,157	3,264		3,264	5,043		5,043

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	6,157		6,157	3,264		3,264	5,043		5,043
計	6,157		6,157	3,264		3,264	5,043		5,043

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	6,245 千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	6,245 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	埋蔵文化財の調査結果をまとめることは、記録保存され後世に残ることとなり、文化財の適切な保存に結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護業務に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められているので、市が実施すべき事業である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	埋蔵文化財を対象として、時代別に整理すること意図としており適切である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	遺物を年代別に整理することで、適切な保存がなされたことになるので、成果の向上余地はある。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	埋蔵文化財や包蔵地内での開発に関する手続き方法の周知を実施することは、文化財保護部局としては当然しなければならないものであり、埋蔵文化財保護の初歩的な事業なので、廃止・休止することはできない。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	事業の一部を委託することで全体経費を削減できる。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	業務委託を行うことで、職員の業務時間削減は可能である。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種法令に基づき実施しており公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		整理が終了していない遺物については、年次整理計画を作成し、できるだけ早い時期に整理が終了するよう務める必要がある。

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
業務の一部を外部へ委託することで、職員の業務時間削減を図る。	現地調査の段階から民間調査機関へ業務の一部を委託することで、さらに全体経費及び職員の業務時間の削減を図っていく。



事務事業コード	774320	事務事業名	山ヶ野金山ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	42-1111
				内線番号	6382
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 14 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	
コード	158090				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<b>手段</b> (事務事業の概要) 山ヶ野金山史跡めぐりとしてウォーキング大会を実施することにより、金山史跡とふるさとの香りを味わいながらウォーキングを楽しんでいただく。 ①山ヶ野金山のウォーキング    ②中学生による案内(説明) ③地元地区民による湯茶の接待    ④郷土芸能の披露 ⑤平成21年度全体事業費 1,447千円 (補助金540千円)								
補助金・負担金の交付先	山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会		補助金の対象経費	1,447,295				
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	ウォーキング参加者	人		285	309	350	350	
イ	地元ボランティア	人		260	270	250	250	
ウ								
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)		<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市民	霧島市民	人	127,450	127,662	128,640	128,868	
イ	霧島市民以外の人	霧島市民以外の人	人					
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)		<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	山ヶ野金山について歴史・文化を正しく理解していただく。	ウォーキング参加者	人	285	309	300	350	
イ	ウォーキング大会を通じて地域住民の融和並びに活性化を図る。	地元ボランティア	人	260	270	250	250	
ウ								
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)		<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	ウォーキング参加者		285	309	350	300	
イ								

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	540	22年度(予算)	530	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 山ヶ野金山を活かした地域おこしの一環として14年度から実施している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ ①参加者の申込が年々多くなってきている。 ②地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。
	補正予算額						
	予算合計			530			
決算額	国庫補助金					この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ ウォーキング大会参加者から、地域の方々のもてなしや中学生による案内説明によるこぼれ、山ヶ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		540				
支出合計		540					

事務事業 コード	774320	事務 事業名	山ヶ野金山ウォーキング大会開催事業						担 当 部	教育部
									担 当 課	文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会 8人									補助金	540	補助金	530	補助金	530
										自主財源	907	自主財源	907	自主財源	900
										合計	1,447	合計	1,437	合計	1,430
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
計									8人	補助金負担金合計	540	補助金負担金合計	530	補助金負担金合計	530
										自主財源合計	907	自主財源合計	907	自主財源合計	900
										自主財源率	63%	自主財源率	63%	自主財源率	63%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
合計									

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	540
補正予算	
合計	540

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングに参加することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にす愛護思想を育むことができ、地域の活性化にも繋がるので政策体系に結びつくことができる。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財(山ケ野金山)を市民や市外の方々に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めたり、地域の活性化を図ることは市の役割である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者が文化財に対する意識を高めることが重要である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者数、案内説明場所、コース設定、山ケ野地区住民の協力、中学生による案内説明など、より効果を上げるため実行委員会で検討しているが、現段階では地域住民でできることを含め最大限の努力をいただいている。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	山ケ野金山を活用して文化財の周知や文化財を大切にす心を育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。また、地域の活性化が後退する。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地域住民(中学生～高齢者)の全面的協力及びボランティアによる運営を実施している。総事業費の半額を参加費が占めており、歳出についても極力削減に努めている。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	約250名のスタッフもボランティアであり、人件費の削減は十分に実施している。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の案内については、市報・チラシなどで広報を実施している。参加資格、申込方法など多くの方が公平に参加できるよう配慮している。また、参加者は参加費を出していることから、公平である。
総括	<b>(1)1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		文化財を活用しながら、地域の方がボランティアとして、ウォーキング大会の運営に携わっておられ、地域の活性化や文化財の周知に繋がる事業と考える。

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1)評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
平成22年度は第10回をむかえ、記念すべき大会である。より多くの参加者があるように、参加費等を検討したい。また、地域住民の高齢化が進み、ボランティアの人数が減少することが考えられることから、新たなボランティアの募集・養成を実施したい。	山ケ野金山ウォーキングは、地元の有志でつくる「山ケ野金山文化財保護活用実行委員会」が主となり運営をし、教育委員会横川出張所が事務局としてバックアップしている。教育委員会職員が減少するなか、実行委員会に自主性を持たせ、職員の負担にならないように改善する。

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	774321			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
霧島市は古くは縄文時代から始まり、クマノ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。市内には数多くの文化財が点在している。そこで、地域住民が霧島市内の文化財を見学することで、文化財や郷土の歴史への認識を深め、愛郷心を高揚するとともに、文化財を大切にすることを心を持たせる。			市内史跡めぐり			
①市報・チラシなどによる広報・募集 ②市内全域を対象にした年8回の史跡めぐり(徒歩・バス) ③見学資料の配布・参加料の徴収(徒歩:300円, バス:700円)			平成22年度計画			
			市内史跡めぐり			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	史跡めぐりの実施回数	回	9	8	8	8
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民	人口	127,450	127,662	128,640	128,868
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	郷土の歴史・文化を知ってもら	史跡めぐり参加者数	388	237	300	310
イ	"	初めて史跡めぐりに参加した人	-	-	20	25
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する	郷土の歴史を学んだ市民の数	9,254	9,512	9,600	9,800
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	235	207	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 平成18年度から開始。霧島市の歴史や文化財を広く知っていただくことを目的として開始した。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 平成17年に霧島市が誕生して以来、市民の多くの方が郷土(霧島市)の歴史や文化財について、関心を寄せている。
	補正予算額	0			
	予算合計	235	207		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市民から、史跡めぐりについて、もっと積極的に広報してほしい。史跡めぐりの参加者から、今後も続けてほしいという要望が寄せられている。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	30			
	一般財源	87			
	支出合計	117			

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成21年度(決算)			平成22年度(当初予算)			平成23年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	18		18	20		20	20		20
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	12		12	50		50	50		50
消耗品費	12		12	50		50	50		50
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	87		87	137		137	137		137
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	117		117	207		207	207		207

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	30		30	123		123	123	
一般財源	87		87	84		84	84		84
計	117		117	207		207	207		207

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	235千円		
	補正予算			
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	235千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	
バス使用時500円×30名×2回=30,000円	

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を巡ることで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、郷土の歴史や文化を正しく理解することを意図しており適切である。
	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	跡めぐり参加者を増やしていくことで、郷土の歴史、文化を正しく認識している人が増え成果が向上する。
B 有効性 評価	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は、外部講師の謝金、バスの借上げなど、必要最小限の予算で実施しているが、参加者にさらなる参加料を求めるなどの工夫が必要である。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業の業務内容は、参加者の募集、資料作成、当日の史跡めぐりなどであり、外部に委託する業務はない。(講師は外部から招聘することがある。)
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の広報も市報やチラシで行っており、市民に広く呼びかけている。バスによる史跡めぐりは募集人数に制限があるため、はがきによる募集を行い、定数を越えた場合は抽選を行なっているため公平である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  参加者が固定化する傾向にあるので、広報等の検討が必要である。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取り組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
参加者に資料代の負担を求める。 福山地区で開催されるエコーミュージアムとの連携で史跡めぐりを実施し、福山地区の文化財を市民に紹介する予定である。 各自治公民館へのチラシ配布・学校への呼びかけを行い、新たな参加者の掘り起しを行う。	市民の関心のあるテーマ・コースを適切に取り入れる。史跡めぐりコースが固定化しないように新たなコースの掘り起しを図る。